

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																				
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
																									
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	【予定】自社業務に効果的な環境マネジメント規格を調査し規格の取得を検討する。			3.9			6	7						12	13.3	14	15					
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	【予定】HP等で環境情報を公開し、環境報告書を発行していく。														12.6							
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	太陽光発電を導入している。							7.2								13						
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】認証製品（森林、バーム油、ゴム、コーヒー等）ブランテーションにより生産される原材料、天然水産物および養殖水産物）を利用していく。														12.2	13	14	15				
22	公正な事業 慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・社員に周知を行っている。 ・【予定】就業規則に明文化をしている。																			16	16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・社員に周知を行っている。 ・【予定】就業規則に明文化する。																				16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	全ての取引先と基本契約・機密保持契約を締結し、その中で知的財産権保護を謳い、保護に取り組んでいる。									8.2	8.3	9										
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	個人情報のルールを定めており、社員に周知徹底している。																					16
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	鉱物を取り扱っていないので非該当。																					16
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】取引先との対話を通じた人権侵害防止等の取組状況の確認活動を行っていく。					5			8		10				12	13	14	15	16	17		
28	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	各工程で社内レビューを行う等社内業務フローを徹底している。			3.9												12.4						
29		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・顧客からのクレーム対応など、品質を保証する仕組みを構築している。 ・顧客の声を社内共有するための基本方針・体制・ルールを策定、役職員向け研修の実施している。										9											
30		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	事業と直接的な関係はないので非該当。							6								12	13	14	15			
31		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】環境に優しい農機具などの販売を積極的に行う。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																			
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
32	地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・年4回本社で展示会を行い、地元農家の方々と交流。 ・今後も事業拡大の事業計画のため、雇用創出に貢献。					4					9		11	12		14	15	17			
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】 農業高校への農機の貸し出しなどの取り組みを検討する。				4								11			14	15	17			
34		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	地元農家の使用しなくなった農機などを買取、販売をしている。										8	9		11	12	13					
35	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有している	基本	全社会議を実施し、その中で各自が経営理念を考える時間を設けたり、社長自ら経営目標を話す機会を設けている。										8	9							17		
36		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	コンプライアンス研修を定期的に行っている。																		16		
37		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	CSR担当を設置している。																			16	
38		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	年1回全社会議を実施し、社外の方に参加していただき、会社の理念や目的を話すとともに対話をする場所を設けている。																			16	17
39		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	クレーム管理、アンケート、業務改善提案など通じて、問題再発防止策や業務効率化に繋がる対応策をPDCAにて策定改良している。																			16	
40		【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】 社会的価値のあるサービスを創出する事業活動と共に、あらゆる企業活動を通じて、環境・社会・経済との調和を保ち、社会の持続的な発展に貢献すべく、CSR活動を推進する。																			16	
41	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	・【予定】 計画の策定を進める。 ・【予定】 B C P の策定を進める。											9		11			13	13.1		16		
42	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	【予定】 後継者となりうる人材の特定をすとともに、教育・育成していく。										8	9								17		

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）